



株式会社NTTドコモ
インド TTSL社への出資について

平成20年11月12日

事業等のリスク

本資料に記載されている、将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、当社グループが現在入手している情報に基づく、現時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)は、客観的には不正確であったり将来実現しない可能性があります。その原因となる潜在的リスクや不確定要因としては以下の事項があり、これらはいずれも当社グループの事業、業績または財政状態に悪影響を及ぼす可能性があります。また潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

1. 携帯電話番号ポータビリティ制度、新規事業者の参入など市場環境の変化により競争が激化するなか、通信業界における他の事業者及び他の技術等との競争に関連して、当社グループが獲得・維持できる契約数が抑制されたりARPUの水準が逡減しつづれたり、コストが増大する可能性があること
2. 当社グループが提供している、あるいは新たに導入・提案するサービス・利用形態・販売方式が十分に展開できない場合、当社グループの財務に影響を与えたり、成長が制約される可能性があること
3. 種々の法令・規制・制度の導入や変更または当社グループへの適用により、当社グループの事業運営に制約を課されるなどの悪影響が発生し得ること
4. 当社グループが使用可能な周波数及び設備に対する制約に関連して、サービスの質の維持・増進や、顧客満足 of 継続的獲得・維持に悪影響が発生し得ること
5. 第三代移動通信システムに使用している当社のW-CDMA技術やモバイルマルチメディアサービスの海外事業者への導入を促進し、当社グループの国際サービス提供能力を構築し発展させることができる保証がないこと
6. 当社グループの国内外の投資、提携及び協力関係や、新たな事業分野への出資等が適正な収益や機会をもたらす保証がないこと
7. 当社グループの携帯電話端末に決済機能を含む様々な機能が搭載され、当社グループ外の多数の事業者のサービスが携帯電話端末上で提供される中で、端末の故障・欠陥・紛失等や他の事業者のサービスの不完全性等に起因して問題が発生し得ること
8. 当社グループの提供する製品・サービスの不適切な使用により、当社グループの信頼性・企業イメージに悪影響を与える社会的問題が発生し得ること
9. 当社グループまたは業務委託先等における個人情報を含む業務上の機密情報の不適切な取り扱い等により、当社グループの信頼性・企業イメージの低下等が発生し得ること
10. 当社グループが事業遂行上必要とする知的財産権等の権利につき当該権利の保有者よりライセンス等を受けられず、その結果、特定の技術、商品またはサービスの提供ができなくなる可能性があること、また、当社グループが他者の知的財産権等の権利の侵害を理由に損害賠償責任等を負う可能性があること
11. 地震、電力不足、機器の不具合等や、ソフトウェアのバグ、ウィルス、ハッキング、不正なアクセス、サイバーアタック等の人為的な要因に起因して、当社グループのサービス提供に必要なネットワーク等のシステム障害や当社グループの信頼性・企業イメージの低下等が発生し得ること
12. 無線通信による健康への悪影響に対する懸念が広まることあり得ること
13. 当社の親会社である日本電信電話株式会社が、当社の他の株主の利益に反する影響力を行使することがあり得ること

1. インド概況 ①

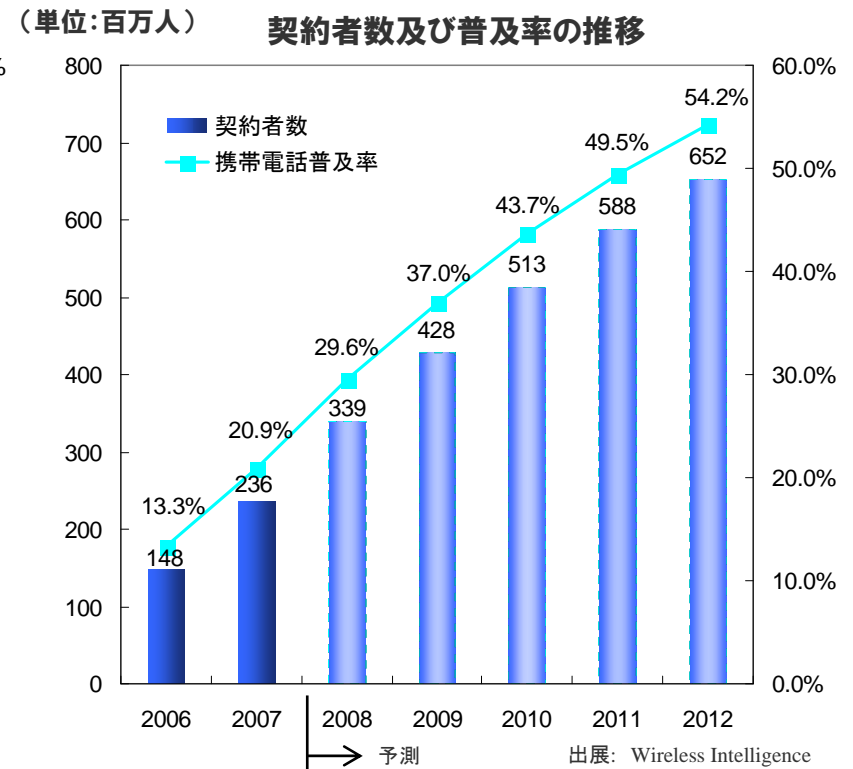
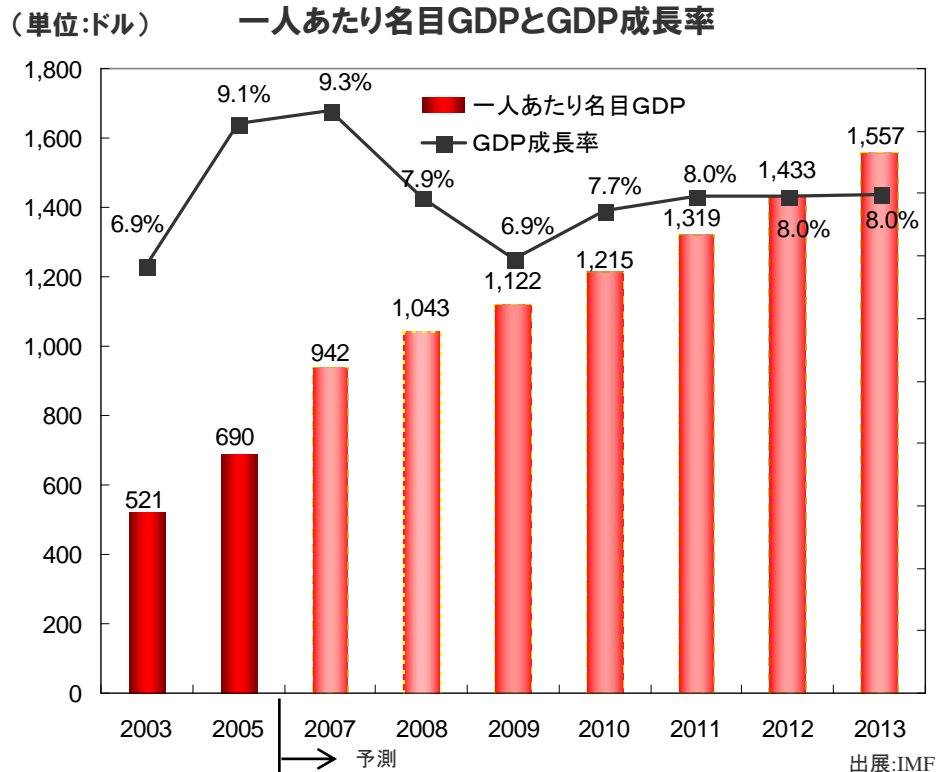
◆概況

- 国名 インド
- 面積 3,287,263平方キロメートル
 (インド政府資料:パキスタン、中国との係争地を含む)
- 人口 11億4800万人 (2008年7月.)
- 首都 ニューデリー(New Delhi) 人口 29.5万人(2001年)
- 宗教 ヒンドゥー教徒80.5%、イスラム教徒13.4%、
 キリスト教徒2.3%、シク教徒1.9%、
 仏教徒0.8%、ジャイナ教徒0.4%(2001年国勢調査)
- 言語 連邦公用語はヒンディー語、
 他に憲法で公認されている州の言語が21
- 経済 実質GDP成長率: 9.3%(2007年)
 名目GDP: 45兆5,260億ルピー(2007年)、(1兆1,007億USドル)
 一人あたりのGDP(名目): 942ドル(2007年)
- その他 1990年代以降、インドは経済自由化・改革を進め、高い経済成長を達成している。
 豊富な若年層の存在がIT産業を飛躍的に発展させ、インドの経済規模は世界第12位
 となっている。



1. インド概況 ②

◆ マクロ経済及び携帯電話市場共、高い成長が見込まれる



基礎経済指標比較 (2007年)

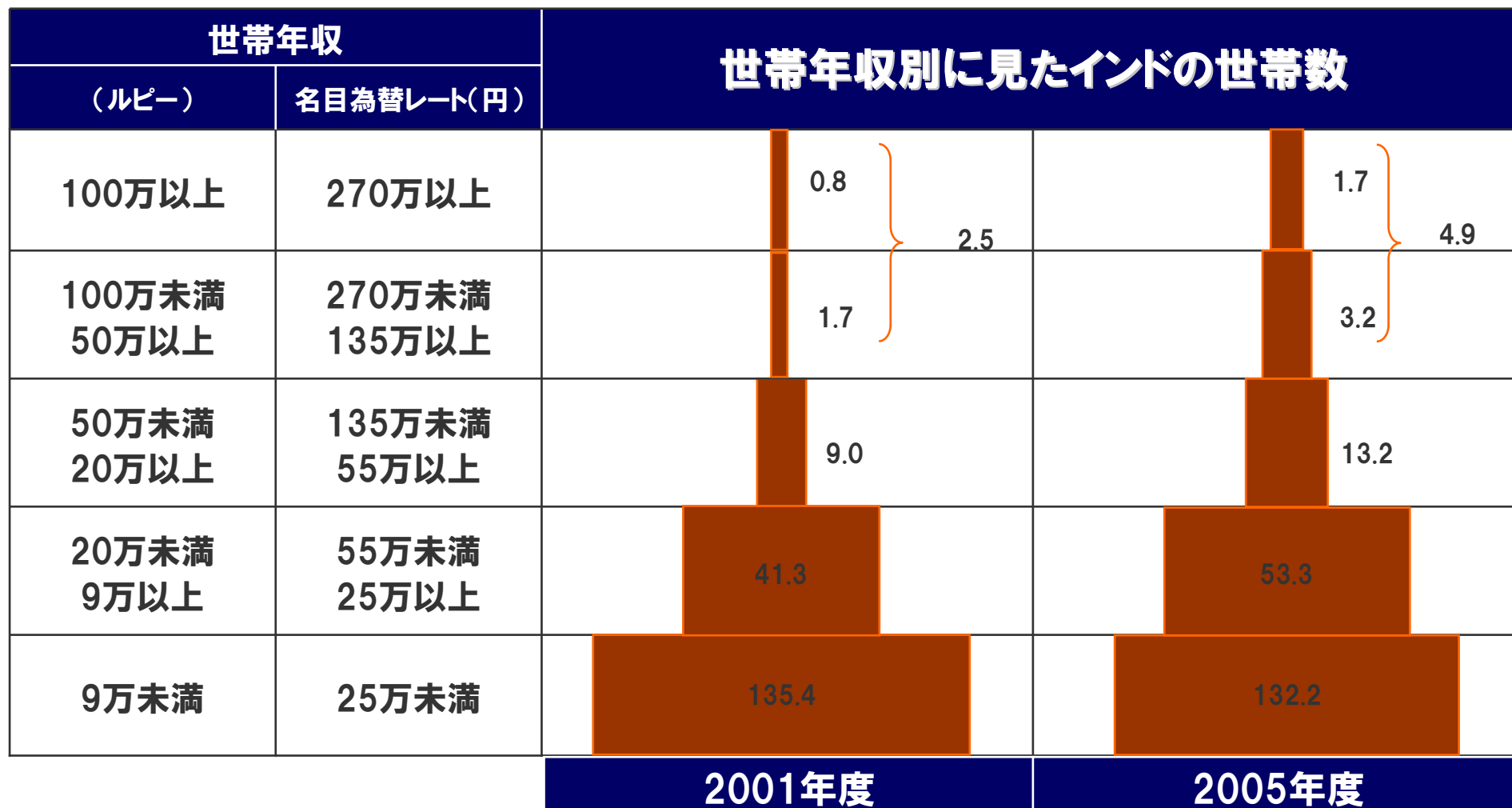
	インド	日本
実質GDP成長率	9.34%	2.08%
名目GDP総額(US\$億)	11,007	43,815
名目GDP/一人(US\$)*	942	34,296
携帯電話人口普及率	21%	78%

出典: Wireless Intelligence、IMF * 予測値

1. インド概況 ③

インドではミドルクラスの世帯が拡大している

(単位:100万世帯)



出典) 国立応用経済研究所(NCAER)を基に野村総合研究所が作成

注) 1) 世帯年収はインフレの影響を排除しているため、2001年価格としている

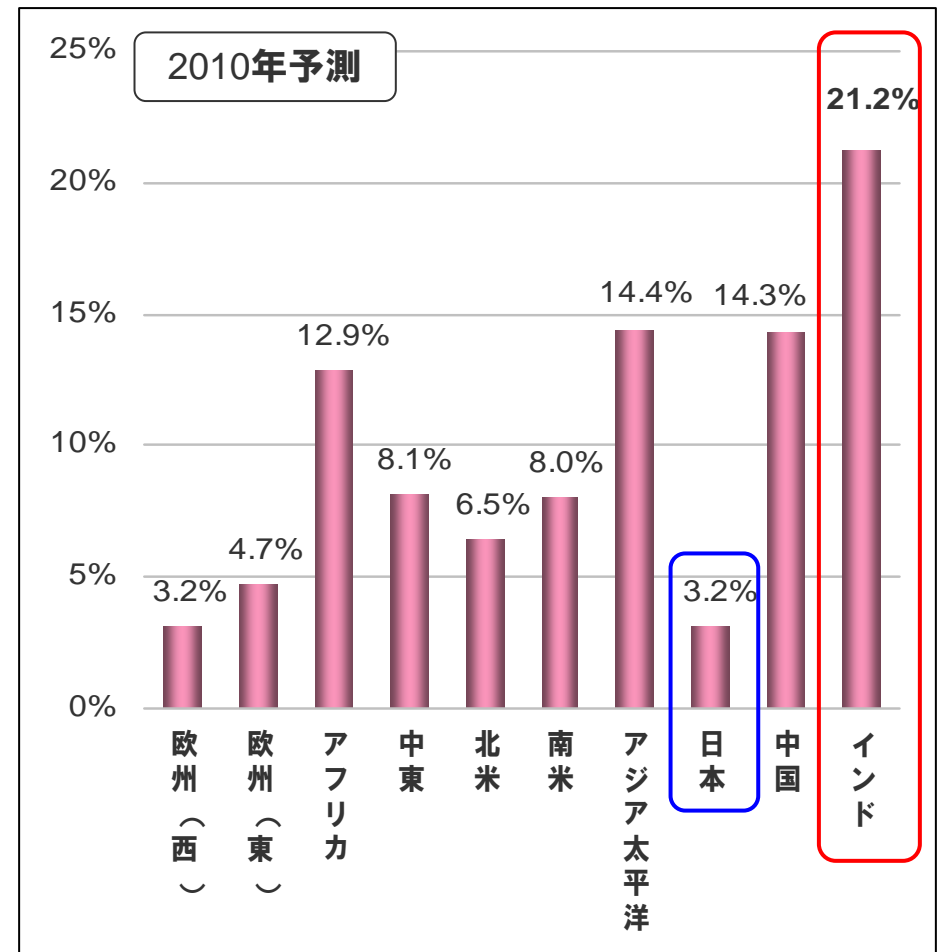
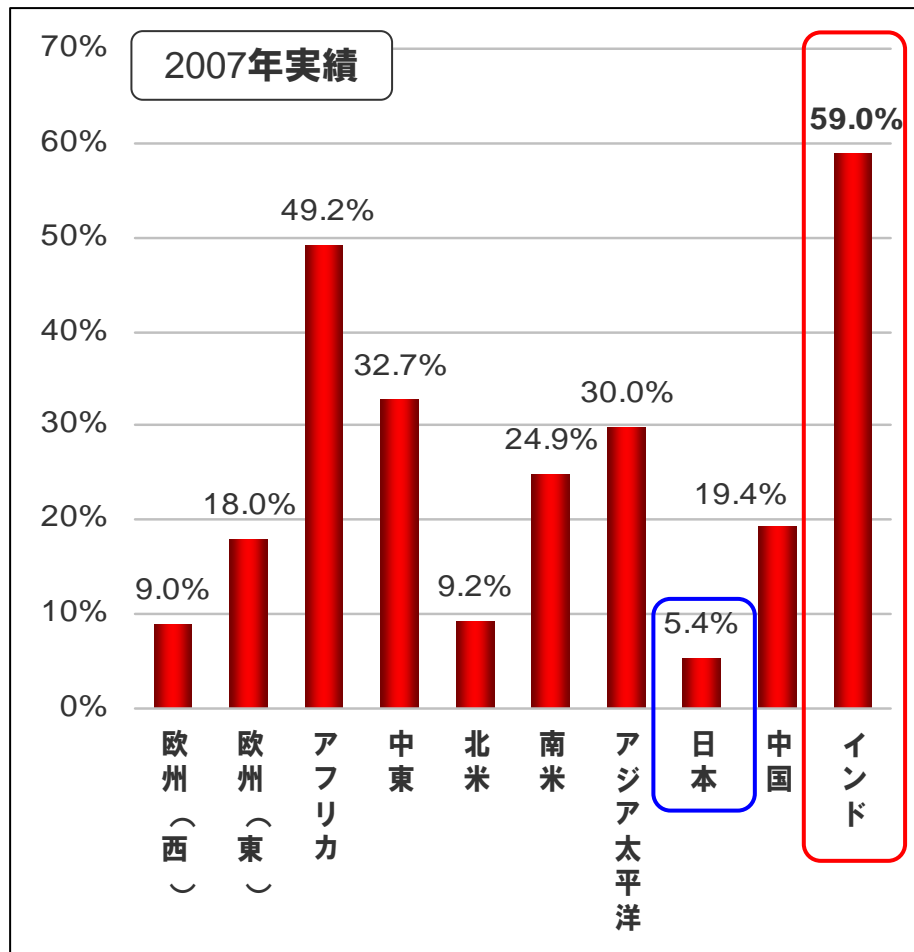
2) 円ルピーの換算レートは、1ルピー=約2.73円(2008年3月4日のTTSLレートを参考とした概算値)

2. インド携帯市場の成長性

- インド市場の成長性は著しく、中期的に成長性取り込み可能
- インドの携帯電話 人口普及率は現在※¹ の約30% (3.2億加入) ※²から2012年に54%程度(6.5億加入)※²へ大きく増加

※1 2008年9月末 ※2 出典:Wireless Intelligence

携帯加入者増加率(前年比)



3. インドのオペレータ

インドの携帯電話契約者数(2008年9月):3億1,530万
(内: GSM 2億3,370万人、CDMA 8,160万人)

	加入者数 (08/9) (百万)	GSM加入者数 (08/9) (百万)	シェア (08/9)	売上 (08/3) (百万US\$)	契約者獲得済み サークル数
Bharti	77.5	77.5	24.6%	5,517	23
Reliance Communications	56.0	9.2	17.8%	3,865	23
Vodafone Essar	54.6	54.6	17.3%	NA	19
BSNL	43.9	39.2	13.9%	7,812	21
IDEA (合併発表済み)	30.4	30.4	9.6%	1,380	12
TTSL (TTML含む) ^{※1}	29.3	0.0	9.3%	1,104	20 ^{※2}
Aircel	13.9	13.9	4.4%	NA	10
Spice (合併発表済み)	3.6	3.6	1.1%	197	2
MTNL	4.0	3.7	1.3%	918	2
その他(5社)	2.1	1.7	0.7%	NA	NA

※1 売上はTTSL単体

※2 免許取得サークル数は23 出典:TRAI, COAI, Company information.

4. パートナーとしてのTTSL の優位性

■ パートナーとしてのTTSL の優位性



- ✓ **インド最大で信頼性も高いTataグループ**
- ✓ **GSMサービスの新展開による成長余力**
- ✓ **ドコモの技術・ノウハウ供与によるTTSL社の更なる企業価値の向上**

4-1. Tataグループの概要

- インド最大規模の財閥で、2007年4月-08年3月のグループ総売上高は約625億ドル*
- 96の企業から成り、7つの事業セクターにおいて合計約350,000人の従業員を擁する
- 27の上場企業を傘下に擁し、累計株主総数は320万を超える。主要上場企業の合計株式時価総額は242億ドル*
- 6大陸、80超の国々で事業運営をしており、85超の国々に製品及びサービスを輸出
- Jamsetji Tata氏により19世紀後半に設立され、現在はRatan Tata氏が会長を務める

*07年度 - 08年度米ドル為替レート

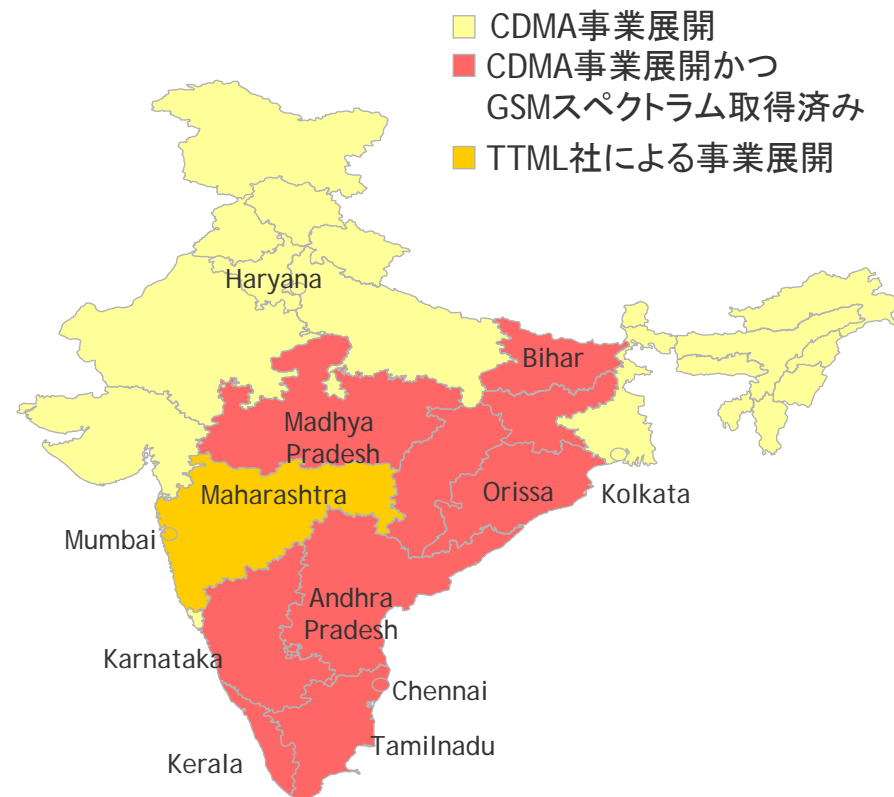
部門	主な企業	グループ売上高に占める割合(08年度)
素材	Tata Steel (incl. Corus), Tata Advanced Materials	52%
工業	Tata Motors (incl. JLR), Voltas, Tata Autocomp Systems, Tata Projects, Tata Construction Equipment	17%
情報通信	TCS, Tata Tech, Tata Exlsi, Tata Communications, Tata Tele	16%
エネルギー	Tata Power, Tata BP Solar	5%
サービス	Indian Hotels, Tata Realty, Tata Housing, Insurance, AMC	4%
化学	Tata Chemicals, Rallis	3%
消費財	Tata Tea, Titan, Trent, Infiniti Retail	3%

4-2. TTSL社の概要

会社概要

- **本社所在地:**インド、ムンバイ
- **契約者数:**30.2百万¹ (08/9現在)
 - **無線契約者数:**29.3百万² (08/9現在)
 - **マーケットシェア:**9.3%³ (08/9現在)
- **通信形式:**CDMA、GSM
(2009/1展開予定)
- **販売チャネル:**専門・直営店が3,500店以上
- **売上:**53,779百万ルピー (1,086億円)
(08/3現在)
- **株式:**非上場
- **Chairman of the Board**
 - Ratan Tata
- **Managing Director**
 - Anil Sardana

サービス展開



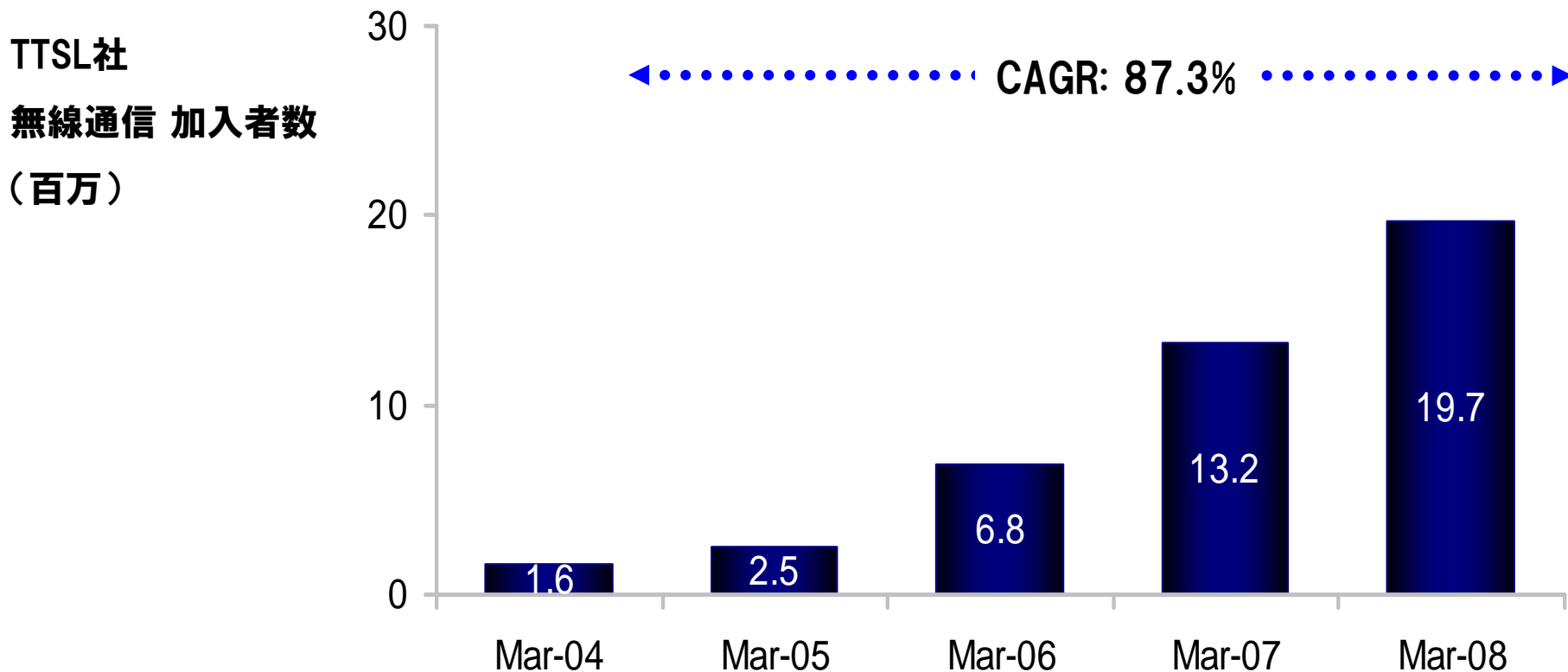
- ◆ 20サークルでCDMA事業を展開
- ◆ 8サークルでGSMスペクトラムを取得済み、2009年早期に事業開始予定

¹ TTML社(6.2百万加入)を含む
² TTML社(5.7百万加入)を含む
³ 無線市場のみ。TTML社を含む

為替前提: 2008年10月31日の仲値INR1=2.02円で計算

4-3. TTSL社の成長性

- 2004年3月から2008年3月の期間、TTSL社の無線通信契約者数の年平均成長率（CAGR）は87.3%
 - ✓ 同期間の無線通信業界の成長率は68.8%



2009年のGSMサービス開始により、この成長を加速

NTT
docomo